

いちばんぼし

第3学年
H30.5.14
NO.3

にふえ～で～びる沖縄 修学旅行

2泊3日をダイジェストで…
マリンスポーツ



心配された天候も全くの問題なし。輝く太陽の下でマリンスポーツ体験。ドラゴンボートに乗ったり、ビーチフラッグをしたり、海に入って水をかけ合ったり、浜辺で謎の造形物を作ったり…。みんな思い思いに沖縄の海を楽しんでいま

した。ホテルの人に聞くとところによると、前日の雨がなければもっと海は澄んでいたのだとか。それでも十分すぎるほどのきれいなマリンプルーの海でした。沖縄の海、最高！



食事・レクレーション



放課後や土日に集まって準備を続けてくれていた実行委員。タイトなスケジュールの中でもレクの時間を持つことができたのは、実行委員の地道な努力のおかげです。準備ってホントに大変なんですよ…。「マンボで輪くぐり」「風船爆弾」「ファイブボンバー」で楽しんだ後、それまでの修学旅行の写真をまとめたムービー(杉本生ありがとう!)を見ながらみんなで GReeeN のキセキを歌いました。まだ修学旅行は終わってないのに、何だかしみりムード…。きっと残りの学校生活も、あっという間に過ぎ去っていくんだらうな…。食事は2時間半のマリンスポーツの後ということで、みんなモリモリ食べる。時間もずいぶんオーバー。どのテーブルにもトング片手に肉を焼いて班員にひたすらサーブする生徒。食事ってその人の人柄が伝わってきますよね。



道の駅かでな

3日目。ホテルで退館式を終え、嘉手納にある米軍基地の横にある「道の駅かでな」に向かいました。基地と道の駅は道路を挟んでいます。広大な敷地の基地からは、軍用飛行機が絶えず離発着しています。その度に少し遅れて爆音が道の駅まで届きます。その音の大きさに驚かされましたが、これも沖縄の人たちの日常であることも忘れてはいけません。



首里城



沖縄はかつて琉球王国と呼ばれていました。中継貿易の基点として中国や朝鮮半島、東南アジアと交流を深めていった場所でもあります。地理的歴史的に独自の文化を育んできた琉球王国ですが、その琉球王国の最大の城がこの首里城です。沖縄独自の文化は、民泊家庭でも感じることができたと思います。朱色が特徴的な建築物です。守礼門は2000円札の絵柄になっています。外国の方もたくさん観光に来られていました。

国際通り



班活動で国際通りの散策。お昼ごはんも班ごとにお店を選んで食べました。沖縄の町並みは、尼崎や関西の町並みとはまた違った風情です。街路樹も南国っぽいです。おみやげを物色するみんなの眼差しは真剣そのもの。きっと家族も喜んでくれることでしょう。班活動も仲良く協力できたようですが、あまりに地図を見ずに周りについていだけで駅にたどり着いた班も…。地図のない旅行者？人任せなのはちょっと心配…。



那覇空港 伊丹空港 尼崎



さらば、沖縄。楽しい時間はあっという間に過ぎていきます。名残惜しい気持ちは帰りの飛行機の中でも伝わってきました。少し気がゆるんでしまった人達もいましたが、みんなと一緒にいた時間はそれぞれの心の中に静かに積もってゆきます。尼崎に戻る。安心する気持ちと一抹のさみしさ。修学旅行も最終章です。

解散式



バスで小田北中学校に戻る20時15分。誰もいないはずの校舎にはみんなを出迎える煌々と灯る明かり。沖縄の気温に負けない、あたたかい学校。小田北中学校です。解散式では実行委員長の道盛くんから挨拶がありました。メモなど見ず、まっすぐ前を見て自分の言葉で話そうとする実行委員長の姿に、この修学旅行の成功を感じ取ることができました。清水先生からは「この修学旅行ではみんなの良いところをたくさん見ることができました」というお話がありました。良いところを素直に出し合え支えあう集団。3年生みんなで学び、感じ、体験したことは、残り10ヶ月になった学校生活をさらに豊かにしてくれることと信じ

ています。

